

# 延岡市小学校体育連盟ポスターセッション発表

**延岡市小学校体育連盟**

延岡市小学校体育連盟  
研究部長  
延岡市立 延岡小学校  
教諭 鷹巣真宏

## 研究主題

健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習を目指して

～探求的・協働的な学びのある「体づくり運動」指導の工夫を通して～

私たち延岡市小体連は、研究主題を「健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習を目指して」とし、副題を～探求的・協働的な学びのある「体づくり運動」指導の工夫を通して～として、本年度より研究を進めているところです。

### なぜ「体づくり運動」??

平成25年度延岡市小体連アンケート結果

興味のある種目

- ボール運動
- 体づくり運動
- 器械運動
- 水泳運動
- 陸上運動
- 表現運動

指導が苦手

- 器械運動
- 水泳運動
- 表現運動
- ボール運動
- 体づくり運動

まず、なぜ「体づくり運動領域」の研究を進めているのか。3年前、小体連で行った教員向けのアンケート結果が出発点となっています。

まず、質問項目「興味のある運動種目は何ですか」に対して、『体づくり運動』と答えた先生方が非常に多かったです。

また、「指導が苦手な運動種目は何ですか」という質問項目に対しても『体づくり運動』と答えた先生方が多くの割合を示していることが分かりました。

平成25年度延岡市小体連アンケート結果

興味のある種目

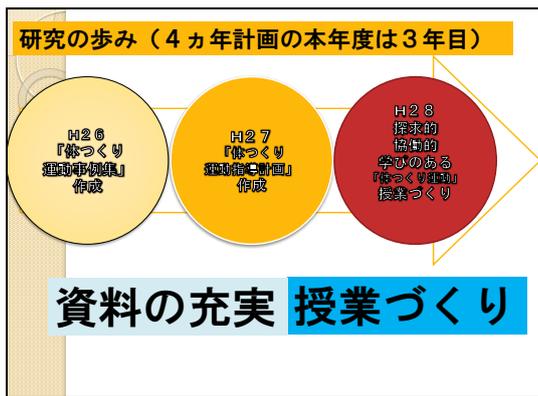
興味

指導が苦手

指導方法

はあるけど 分からない・・・

つまり、このアンケート結果から、『体づくり運動』に対して、「興味」はあるが「指導方法」についてはいまいよく分からないといった先生方が多いという実態が把握できました。



そこで私たちはこの体づくり運動の研究を4カ年計画で進めていくことに決めました。

研究1年目はまず先生方に運動例を知ってもらおうと『運動事例集』の作成を。

研究2年目、昨年度は授業を進めていく上で必要な『指導計画表』の作成を行ってきました。

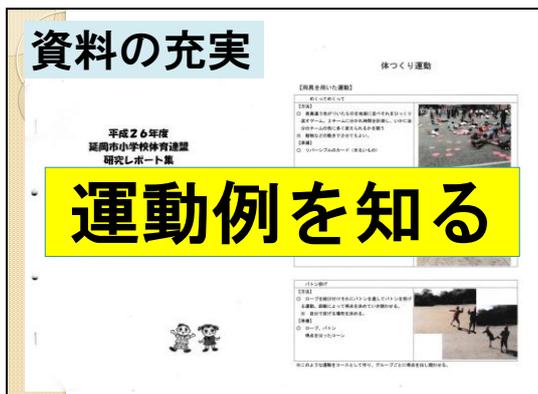
過去2年間は授業研を行いながらも、まずは『資料の充実』に力をいれてきたところです。

研究3年目である本年度は、先ほど示した副題にあった通り、「探求的・協働的学びのある『体づくり運動』になるよう「授業づくり」に焦点を当てて研究しているところです。

それでは、まず本年度の取り組みについて説明する前に、過去2年間でどのような資料を作成してきたかを紹介させていただきます。

まずは1年目に作成した「運動事例集」についてです。

写真を付けながら説明し、指導者がイメージしやすいように工夫をしました。まず、先生方に運動例を知ってもらうことを研究の第一歩としたのです。



次に2年目に作成した「指導計画表」についてです。

学年ごとに作成しました。

この「指導計画表」は『単元名・単元の目標』・『評価規準』・『学習の流れ』・『評価の観点』などがすぐに分かるようにまとめてみました。

指導が苦手と感じられている先生にもどのように授業を進めればよいのか、指導計画を知ってもらうことを目的として作成したところです。



**運動が  
好き！！**



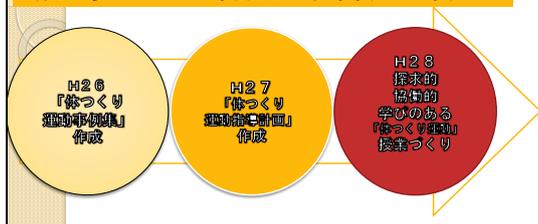
健やかな基礎を～探求的  
体づくり運動  
関わり合い  
ば、児童が  
の基礎を育

本を育み、  
体育科  
動的な学

らいて、課  
探求的な  
で学習に取  
ことができ

**教師の指導力向上**

**研究の歩み（４カ年計画の本年度は３年目）**



H26  
『体づくり  
運動事例集』  
作成

H27  
『体づくり  
運動事例集』  
作成

H28  
探求的  
協働的  
学びのある  
『体づくり運動』  
授業づくり

**探求的・協働的**

探求的な  
学び

**教材・教具の工夫  
場の設定の工夫**

学びが  
深まる

**言語活動の充実**

【課題を設定する：つかむ】  
・どんな運動が苦手なのか。  
・もっと上手になるにはどうしたらよいか。

【運動の実施：考える・深める】  
・課題をどの程度達成できたか。  
・上手になったところ、いかなかったところの  
原因は何か。

【振り返りを行う：振り返る】  
・課題がどの程度達成できたか。  
・上手になったところ、いかなかったところの  
原因は何か。

二年間の「資料の充実」をふまえ、「授業づくり」に焦点を当てて進めている本年度の『研究の構想』です。

生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していく子どもの育成を目指して、研究主題・副題を設定し、研究仮説を次のように立てました。

研究内容として大きな柱が二つ。

「資料の充実」と「探求的・協働的な学びを位置づけた指導過程の研究」＝「授業づくり」としています。

この2つの研究は、教師の指導力向上につながり、ひいては、「運動が好き」と思える児童の育成につながると考えています。

では、ここからは、授業づくりに焦点を当てて研究を進めている本年度の取組についての説明をさせていただきます。

キーワードは「探求的・協働的」です。

まず、「探求的な学び」というものがどのようにすれば展開されていくか、その学びのプロセスを整理し、それを指導案上に明記していくことに決めました。

まずは課題を設定する：つかむ段階。

次に、つかんだ課題を解決する方法を考える：見通す段階。

そして、運動を実際に行いながら：考え・深める段階。

最後に、運動の実施後に今日は課題がどの程度達成できたか振り返りを行う：振り返る段階。

この振り返る段階で新たな「課題」が生まれ、学びが深められていくのではないかと考えました。

もちろん、各段階を指導案上に明記して終わりではなく、それぞれの段階が効果的に流れるよう教師のしかけが必要になってくると思います。

例えば「教材・教具の工夫」「場の設定の工夫」「言語活動の充実」などの工夫が考えられます。

これらの工夫を含めた一連のプロセスこそが「探求的な学び」へとつながるのではないかと考えているところです。



**探求的な学び** H28 体づくり運動（5年生）



自分が投げている写真

自分にあつた「めあて」=「課題意識」をもたせるためのしかけ

**協働的な学び**

共に学ぶ



- ① 多くの情報
- ② 様々な視点からの分析
- ③ 楽しく課題解決に取り組める

**協働的な学び** H28 体づくり運動（5年生）



☆体カテストの結果をもとにしたグループ編成

☆チームごとに話し合いをしながら作戦を立てる時間の設定

**授業**

**アクティブ  
ラーニング**

また、そのめあてに教師のねらいとするポイントが現れるよう、自分自身が実際にどうボールを投げているのか写真で撮り、ワークシートに貼らせる予定です。

この写真・ワークシートが、自分にあつた「めあて」すなわち「課題意識」をもたせるしかけとなるのではないかと考えています。

授業づくりに焦点を当て進めていっている本年度の研究のもう一つのキーワード「協働的な学び」。

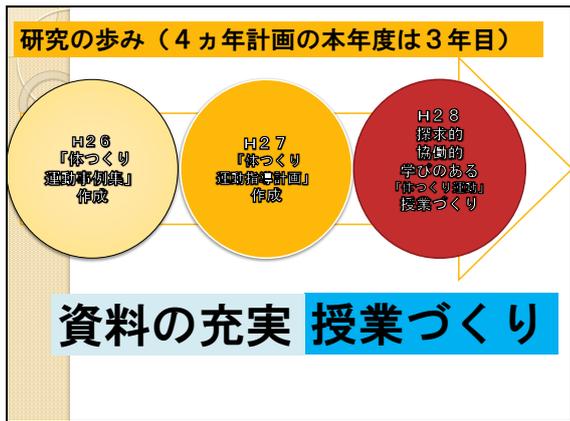
わたしたちは、共に学ぶ仲間がいて関わり合いながら学習を進めることができれば・・・より多くの情報が集まり、様々な視点からの分析ができ、何より楽しく課題解決に取り組めるのではないかと考えています。

11月に実施予定の授業では、この協働的な学びが進められるように、体カテストの結果をもとにしたグループ編成をしたり、チームごとに話し合いながら作戦を立てることができる時間の設定をしたりといった手立てをうつ予定です。

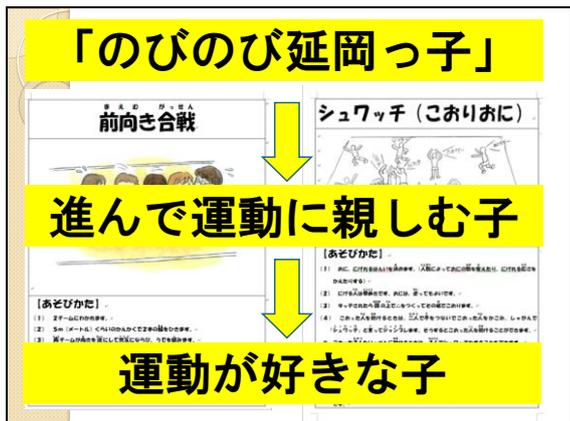
「探求的な学び」になるような指導過程とそれを支える「協働的な学び」

この研究が進められれば、「児童が主体的に体育学習に取り組む」ようになるのではないかと考えています。

そして、このような授業こそが、今よく取り上げられている「アクティブ・ラーニング」を取り入れた体育の授業と言えるのではないのでしょうか。



本年度は授業づくりに焦点を当てて研究を進めてきていると説明してきましたが、本年度も継続して資料の充実にも取り組んでいます。

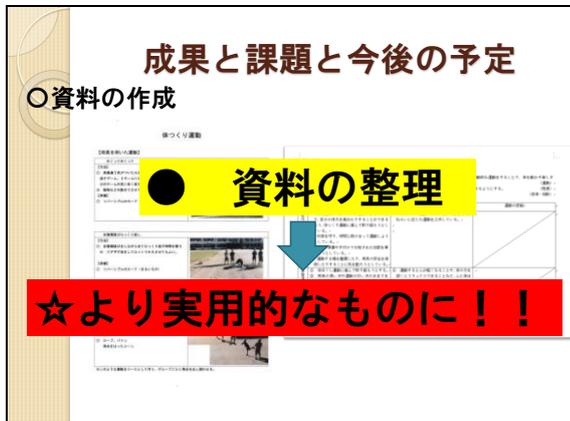


子どもたちが進んで外遊びをしたくなるような、様々な遊びを紹介している「のびのび延岡っ子」という名前のリーフレットを作成中です。進んで運動に親しむようになり、運動が好きになってくれることを願って作成し、3学期には全校に配付したいと考えています。



延岡市小体連がこの3年間で進めていっている「資料の充実」と「授業づくり」の研究。

この2つの歯車がバチッと噛み合った時、先生方の指導力は向上し、きっと「運動が好き」と答える児童が増えると思っています。



ここまでの研究の成果と課題です。

資料を作成してきたことは一定の成果と認められますが、それぞれの資料の整合性やつながりまで意識しながら整理をすることで、より先生方が使いやすい資料になると思いますので、それぞれの資料の整理が一つ課題として挙げられます。

## 成果と課題と今後の予定

- 探求的・協働的な学びを位置づけた基本的な指導過程モデルの作成
- 授業実践



**研究授業2本実施予定  
(体づくり運動・保健)**

探求的・協働的な学びを位置づけた授業づくりを今現在行っているところですが、授業実践はまだ行えていません。本年度11月と1月に2本授業研を行い、来年度の学体研に向け、小体連一丸となって、引き続き授業づくりの研究を行っていこうと思っています。

